

市民と共に取り組む環境浄化 吉祥寺イーストエリアのまちづくり



安心して歩ける今の
吉祥寺イーストエリアが
どのように生まれたのか
見ていきましょう



武蔵野ふるさと歴史館
公文書専門員
高野さん

吉祥寺駅北口東部地区にあたる吉祥寺本町1丁目は、現在「吉祥寺イーストエリア」と呼ばれ、個性的な店が並ぶ繁華街になっています。しかし、昭和40年代から50年代にかけて、このエリアは「近鉄裏」と呼ばれ、風俗店などが建ち並ぶ一大歓楽街でした。これによって地域住民の生活環境は大きく悪化。そこで市民らが立ち上がり、市や市議会、警察、保健所なども協力しながら全市を挙げた環境浄化への取り組みが行われるようになりました。長年にわたるさまざまな人たちの思いや努力によって、安心して歩ける今の吉祥寺イーストエリアが生まれたのです。吉祥寺イーストエリアの環境浄化への取り組みの「これまで」と「これから」を紹介します。



昭和40(1965)年、吉祥寺駅北口



昭和41(1966)年、中央線高架化工事の様子
(駅構内からイーストエリア方面)

昭和30年代～40年代

まちの発展と「近鉄裏」による環境悪化

昭和30年代、武蔵野市の人口は急増し、東京オリンピックが開催された昭和39(1964)年末には13万人を超えています。その後、吉祥寺駅周辺の再開発事業がスタートし、昭和44(1969)年に荻窪―三鷹駅間の中央線・総武線高架複々線が完成、昭和46(1971)年には吉祥寺駅南口の未広通りと五日市街道を結ぶ吉祥寺大通りが開通しました。

昭和49(1974)年、この大通り沿いに近鉄百貨店(現ヨドバシ吉祥寺)がオープン。百貨店の東側は「近鉄裏」と呼ばれ、大通りから死角になることから風俗店が急増。新宿・歌舞伎町と並ぶ歓楽街ともいわれて環境の悪化が問題視されました。人口の増加や駅前の発展、市外から遊びに来る人たちが増えたことなどによって、新たな課題も発生していったのです。



昭和54(1979)年、
本町コミュニティ
センター完成



昭和60(1985)年、環境浄化推進市民大会パレード



昭和59(1984)年、
環境浄化特別推進
地区指定後の式典

昭和50年代～

環境浄化に立ち上がった市民たち

「近鉄裏」の環境悪化が深刻になり、昭和51(1976)年にストリップ劇場ができるという話が広まったことから、いよいよ市民たちが「このままではいけない」と立ち上がりました。地域のPTAや個人の有志などの市民によって「環境浄化推進市民委員会」が結成されますが、これは、吉祥寺駅北口東部地区に住んでいて怖い思いや悲しい思いをしている子どもたちを第一に考えてのことでした。

昭和57(1982)年には吉祥寺地区を中心とする住民が、約1万名の署名と共に「風俗産業公害に関する条例案」を市長に提出。その後、昭和58(1983)年の市長交代を経て、市の提出した「武蔵野市環境浄化に関する条例」が可決されました。この条例に基づき、吉祥寺駅北口東部地区は「特に環境浄化を推進する必要がある地域」として「環境浄化特別推進地区」に指定され、地域住民による自主的な環境浄化活動とそれに対する市の支援が一層進むことになりました。

昭和60年代～平成

図書館やシアターの新設で文化的エリアに

吉祥寺地域では、かねて市民から図書館設立の要望がありました。昭和60年代に入ると、PTA、青少年問題協議会、図書館要望団体などの連携により、吉祥寺地域の図書館設立運動が進み、昭和62(1987)年、吉祥寺図書館が開館。当時は全国でもほとんど例のなかった「駅前繁華街の図書館」として注目を集めました。平成に入るとバブル経済の崩壊による景気後退も手伝い、このエリアの風俗店も徐々に減少していくことに。

平成17(2005)年には市が舞台芸術の創造と普及・発展の拠点として「吉祥寺シアター」をオープン。これらをつかかずに、周囲に個性的な飲食店なども増え、継続的な環境浄化運動の成果によって、吉祥寺本町1丁目界限は文化的なエリアへと移り変わっていきます。活力とにぎわいがあり、かつ誰もが安心して利用できるまちなみは、長年にわたる多くの市民たちの願いと行動力、それを支えた行政によって生まれたのです。



図書館設立の要望を訴える地域の小学校のPTAだより



吉祥寺シアター

吉祥寺
イーストエリア
環境浄化
トピックス

昭和49年

吉祥寺大通り沿いに近鉄百貨店開店

昭和46年

吉祥寺大通り開通

昭和44年

荻窪-三鷹駅間の中央線・総武線高架複々線完成

昭和39年

武蔵野市の人口が13万481人に

吉祥寺イーストエリアの安全を守るさまざまな活動

24時間365日
まちの治安を
守るために
活動しています



武蔵野市防災安全部
安全対策課
市川さん

環境浄化運動によって吉祥寺イーストエリアの治安は大幅に改善されましたが、これを維持するためには環境浄化への取り組みを継続していく必要があります。市は平成14(2002)年に「武蔵野市つきまとい勧誘行為の防止及び路上宣伝行為等の適正化に関する条例」を施行し、これを受けて武蔵野市安全パトロール隊「ブルーキャップ」が発足しました。令和4(2022)年には、この条例を一部改正して、飲食店や風俗営業店などの客引き行為、スカウト行為、客待ち行為を新たに禁止行為として追加しています。

また、平成25(2013)年に市内で発生した強盗殺人事件をきっかけに設置された「吉祥寺緊急安全対策会議」で、警察、学校、地元商店会などが検討した結果、深夜の時間帯を回る「吉祥寺ミッドナイトパトロール」も発足。ブルーキャップとあわせて、日中から深夜、翌朝まで、まちの治安を守るために活動しています。

深夜から早朝までまちの安全を見守る

吉祥寺 ミッドナイトパトロール隊



ブルーキャップが活動を終える時間から、武蔵野市全域を見回る青色防犯パトロール隊「ホワイトイーグル」が活動を開始する午前7時まで活動。4名体制で吉祥寺駅周辺を中心にパトロール。土・日曜、祝日も含めて365日活動しています。深夜から早朝の時間帯の見回りを自治体が日常的に行うのは全国的にも珍しいケースです。

日中から夜間までまちの治安を守る

武蔵野市安全パトロール隊 「ブルーキャップ」



吉祥寺駅周辺での迷惑なつきまとい勧誘行為に対する指導や警告、通行を妨げる路上宣伝に対する注意などを行っています。平日は午後1時から翌午前0時まで、土・日曜、祝日は午後4時から10時まで、年末年始も休まず活動。市民はもちろん、まちに来訪した方々も安心して駅前を歩けるようパトロールを行っています。

平成13年

近鉄百貨店
閉店

昭和62年

吉祥寺図書館
開館

昭和58年

「武蔵野市環境
浄化に関する条
例」施行

昭和54年

本町コミュニ
ティセンター
開設

昭和53年

吉祥寺駅北口
東部地区に防
犯カメラ設置

昭和51年

環境浄化推進市民
委員会発足



環境浄化への継続的な取り組みによって
吉祥寺イーストエリアの
治安は守られています



吸う人も吸わない人も過ごしやすいまちへ

吉祥寺イーストエリアに
喫煙所を新設



吉祥寺駅南口の喫煙所

現在、喫煙所は吉祥寺・三鷹・武蔵境の各駅付近に1カ所ずつ、計3カ所設置されています。吉祥寺駅付近は南口にありますが、吉祥寺イーストエリアのまちづくりの動向や路上喫煙の状況などを踏まえ、新たに吉祥寺イーストエリアに喫煙トレーラーハウスを設置（令和7年4月予定）。受動喫煙対策とポイ捨て防止などの環境美化を推進します。

年末恒例の環境浄化推進の取り組み

歳末特別
環境浄化推進パトロール



毎年、年末が近づく12月下旬に実施されている「歳末特別環境浄化推進パトロール」。一時中断していましたが、平成22(2010)年から復活しました。市や武蔵野警察署、防犯協会、市民安全パトロール隊などの防犯活動団体らが参加し、吉祥寺駅北口を起点に「子どもが安心して歩ける吉祥寺に」などと呼びかけながら年末のにぎわう繁華街をパトロールします。

令和4年	平成19年	平成17年	平成14年
「武蔵野市つきまとい勧誘行為の防止及び路上宣伝行為等の適正化に関する条例」改正	ヨドバシ吉祥寺オープン	吉祥寺シアター開館	「武蔵野市つきまとい勧誘行為の防止及び路上宣伝行為等の適正化に関する条例」施行



吉祥寺イーストエリアのこれから

誰にとっても安全・安心で魅力あるまちに

市民と市による環境浄化の取り組みによって住みやすく過ごしやすいまちなみが生まれている吉祥寺イーストエリア。今後もこの状態を維持すべく環境浄化への取り組みを継続しながら、市のまちづくり条例に基づいて民間開発事業の調整を行うことで、より良いエリアにしていこうとしています。

吉祥寺シアターの創設や音楽スタジオの集積などによって新たに文化的な魅力が芽生え始めていますが、このエリアはまだまだ潜在的な可能性を秘めているといえます。現在、より安全性や快適性、地域の個性を備えたにぎわいのある魅力的なエリアにしていくなために、市道第298号線（本町稲荷通り）・第299号線の拡幅事業や昭和46（1971）年開設の消防団第2分団詰所の建て替え、本町コミュニティセンターの移転など、さまざまな検討が行われています。中でも、本町コミュニティセンターの移転に向けては、市の東部地域で不足している「中高生世代の居場所づくり」をはじめ、施設の複合化に向けた具体的な検討が進められています。

このエリアが、より一層安全・安心で、誰にとっても魅力あるまちになるよう、これからも市民の皆さんと共にイーストエリアのまちづくりを進めていきます。

安全・安心な吉祥寺イーストエリアを維持し、誰にとっても魅力的なまちになるようこれからも取り組みを続けます！



環境浄化運動の歴史を知ってこれからの吉祥寺イーストエリアのまちづくりのヒントにしてもらいたいですね

私は昭和40〜50年代に吉祥寺地域で子ども時代を過ごしました。

当時の吉祥寺イーストエリアは風俗店などが多く、昼間でも子どもや女性が歩くには少し怖い雰囲気がありました。私も、親からこのエリアにはあまり行かないように言われたことを覚えています。

その後、地域の皆さまと市による環境浄化運動などでこのエリアは落ち着きを取り戻してきましたが、まだ心配も残っています。より安全・安心で魅力的なまちを目指して、今後も皆さまと共にさまざまな取り組みを進めてまいります。



武蔵野市長
小美濃 安弘